

家庭教育学級通信 No. 2

令和7年度家庭教育学級を企画、運営いただいた運営委員の皆様ありがとうございました。
市内幼稚園、小中学校で実施していただき、内容も多種多様になってきています。
下半期に活動報告をいただいた幼稚園、小中学校の家庭教育学級の様子を紹介します。
今後の活動にお役立てください。

佐倉小学校

第2回

第2回目として、10月27日に中嶋裕子様を講師として招き、「家庭でできるカンタンヨガ講座」が開かれました。5名参加でした。「実際に体験することで体の動かし方がわかり、勉強になった。」

「自宅でもできるような動きを理解することができた。」との声があがっていました。



第3回目として、11月28日に学校栄養教諭 岩田先生を講師として招き、給食試食会を実施しました。子どもたちが食べている給食を実際に食すことでおいしく食べることで理解が深まりました。たくさんのこだわり、気遣いを知ることができました。26名参加

第3回



内郷小学校



11月6日、第1回目として「食育について考えよう（給食試食会）」が行われました。26名の保護者さんが参加し、飯田直子栄養教諭が講話をしました。パワーポイント資料やクイズを通し、学校給食の工夫について知り、学校での取り組みや子どもたちの実際を知ることができました。その上で、今後の家庭での食育に活かすにはどうしたらよいのかを考える機会となりました。レシピについての質問から作る際のポイントについて知ることができ、好評となりました。

印南小学校

第2回

10月22日、第2回目として「給食試食会」が行われました。5名の保護者さんが参加し、栄養士池田礼子先生にメニューの特徴や栄養面、衛生管理についてご講話いただきました。その後、普段は見る事ができない子どもたちが給食を配膳の様子を見学しました。最後は、子どもたちと同じメニューを実際に配膳、試食しました。



11月27日、第3回目として「小学校生活における子どもへの関わり方」をテーマに講義、演習をしていただきました。講師は小島洋子先生、伊藤久美子先生です。演習では、ロールプレイングを通して場が和やかになり、楽しみながら子どもが自尊心を高めることができる有効な方法を教えていただくことができました。その後、グループ毎に講義・演習から感じたことや普段の関わりで困っていること等を情報共有することができました。様々な視点から情報を共有することができ、有意義な時間をもつことができました。参加保護者・地域住民は13名でした。

第3回



井野小学校

6月9日(月)第1回目として、「開講式・学校探検」が行われました。塚本崇教頭先生に学校案内をしていただき、学校施設や教育活動を見ることで学校教育への興味関心が高まりました。また、家庭教育学級メンバーの顔合わせを行い、互いに子どもの情報交換を行う姿が見られるなど、親睦を深めることができました。1年生保護者及び家庭教育学級生20名参加

千代田小学校

第3回

11月5日 保護者16名参加のもと、子供の配膳の様子を見ることができ、子供が実際食べている給食と同じものを食べて、味や美味しさを知ることが出来ました。

栄養士 松井 美佳先生栄養士の先生のお話も子供の食の安全を考えて、給食を作っていることを知ることが出来て、とても充実した給食試食会になりました。



上志津小学校

第2回

7月23日、製菓会社に勤務されている鶴田めぐみさん（2年生保護者）に講師を依頼し、「親子で学べる理科の実験教室」を開催しました。夏休み2日目、参加総数69名（児童35名、未就学児9名、保護者25名）、大盛況でした。ガリガリ君の青色の正体である天然色素スピルリナの抽出実験に挑戦しました。続いて、重曹とクエン酸を混ぜ、抽出したスピルリナで色付けをするとバスボムが完成しました。同じ材料で作っても、バスボムの色や硬さが違うことの不思議、面白さを体験し、理科って楽しいと感じた児童も多かったようです。実験を通して、自然と親子の会話が生まれたり、歓声が上がったり、笑顔が沢山見られたことは大変嬉しく、夏休みのスタートに素敵な親子のひと時を過ごせました。

第3回

図書館司書の吉富都子先生をお招きし、「吉富先生に聞く『本の魅力』」を開催しました。先生の講話では、日常の中で本に親しむきっかけづくりが読書を身近にすることや、本の持つ魅力を教えていただきました。子どもの頃以降、本に触れる機会が少なくなりましたが、親となり再び本と向き合う時間が増えました。そうした中で聞いた先生のお話は楽しく、学びの多い時間となりました。これをきっかけに、親子で本に触れる時間を増やしていきたいと思いました。また、「本好きな子にしたい」と考えるときには、難しく考えず、日常の会話や小さなきっかけを大切にすることが重要だと学びました。親子で体験を共有することで語彙力が育ち、豊かな表現力につながるという話も印象的でした。子どもが本を嫌がることを心配する保護者もいましたが、先生は「これまでの環境づくりの努力は数年後に実を結ぶ」と励ましてくださり、参加者も安心した様子でした。後半には、保護者同士でリボンを編んでしおり作りを行いました。会話を楽しみながら作業を進め、和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

開催日時：令和7年11月6日（木）10：30～11：50

参加人数：総数9名 1～6年生保護者：7名 未就学児：2名（家庭教育学級委員メンバーも含む）

志津小学校

第1回

6月25日(水)第1回目として、「志津小学校について理解する」をテーマに松橋義己校長先生に校舎案内をしていただきました。入学して間もない期間であったため、保護者間でコミュニケーションをとるいい機会となりました。また、校長の案内で校内を巡ったことにより、校内の様子や、普段の学習の様子を確認することができ、とても貴重な時間となりました。

参加者：1年生保護者及び家庭教育学級生 15人

第2回

10月16日(水)第2回目として、「給食について理解する」をテーマに山田由栄先生(栄養士)に講義をしていただきました。前半の講義では、栄養士が献立作成の際の注意点や、本校児童の喫食状況などを説明されました。保護者はみんな熱心に聞き入っていました。後半は給食の試食をし、配膳から1年生児童給食係による声掛けなど、児童と同じ給食の流れを体験したことにより、給食の様子を理解することができました。

参加者：1年生保護者及び家庭教育学級生 28人

根郷小学校

10月15日(水)第1回目として、「給食試食会」が行われました。講師は、渡邊朋子先生(学校栄養職員)でした。講話を通じて、学校給食の運営や学童期の栄養についての理解を深めることができました。また、「津田仙メニュー」など、佐倉市独自の学校給食の取組を知ることができました。保護者も25名参加していただき、保護者同士のつながりをもつことができました。

染井野小学校

第1回

11月10日(月)アリーナおよび4年1組教室において、「芸術鑑賞会(落語)」を実施しました。児童および家庭教育学級生の計208名が参加しました。今回は、噺家の橘家圓十郎(本名：鈴木 剛<すずき たけし>)氏を講師としてお迎えし、全校児童に向けて落語の基本的な所作や話し方について説明をいただいた後、落語「目薬」を披露していただきました。また、4年生の国語教科書に落語が掲載されていることから、4年生に向けた別枠の公演も行っていただき、児童は教科書で学ぶ内容を実際の落語として体験することができました。日頃あまり触れる機会の少ない日本の古典的な伝統文化に触れる貴重な学びとなり、児童にとって落語をより身近に感じられる有意義な時間となりました。

第2回

11月21日(金)染井野小学校家庭科室および学校屋上において、「給食試食会&学校探検」を実施しました。参加者は保護者21名でした。今回は、染井野小学校学校栄養職員の阿部萌美氏を講師にお迎えし、「染井野小学校の給食について」をテーマに、保護者に学校給食の様子や取り組みについて説明をしていただきました。その後、保護者の皆さんに給食準備の様子を体験・観察してもらい、実際に給食を試食しながら懇親を深める時間を持ちました。また、給食試食会に先立ち、教頭の案内のもと普段は立ち入ることのできない学校屋上を歩き、天気の良い中で周囲の景色を眺めることができました。さらに、理科実験器具を用いて太陽の位置を確認する体験も行い、保護者にとって学校への理解を深める貴重な学びの機会となりました。

佐倉東小学校

第1回

9月25日(木)第1回目として、「給食試食会」が行われました。講師は、林実優先生(学校栄養職員)でした。給食を作る際の様子や注意点を写真を参考にすることができ、給食についてより理解し、安心することができました。また、実際に子どもたちが食べている給食を試食し、どのような味付けや量を食べているかを知ることができました。参加者：1～6年生保護者及び家庭教育学級生25人

第2回

11月24日(月・祝)10:00～12:00、佐倉東小学校 第二グラウンド プレイパーク会場にて、第2回家庭教育学級が行われました。

一般社団法人千葉県冒険遊び場ネットワークの理事 相澤 孝紀 を講師としてお招きし、「子どもの発達と遊びの関係についてプレイワーカーから学ぶ」をテーマに講演をいただきました。プレイパーク開催場所において、子供が目の前で遊ぶ姿を見ながら、自分の子ども時代の遊びを振り返ったり、ほかのプレイパークでの実例を聞いたりして、子どもの遊びをどのように見守っていくか多くの学びを得ることができました。

参加者：佐倉東小学校保護者・地域住民・家庭教育学級生 25名

(プレイパーク参加者156名のうち数名も立ち見などで内容を聞く様子が見られました。)



第3回

12月11日(木)第3回目として、「ベルマーク集計作業」が行われました。

各家庭より回収したベルマークを仕分けし、集計しました。ベルマークを集め、換金することで学校に必要な物品を購入し、子どもの活動に還元していく仕組みを理解することができました。

参加者：1～6年生保護者 14人

西志津小学校

第3回

11月27日(木)第3回目として、「西志津小学校の給食を知ろう～食生活のお話と試食会～」が行われました。石橋裕子先生(栄養職員)からお話をいただきました。給食試食会を通して、子どもたちが日頃食べている給食の味や工夫を実際に体験できました。

栄養バランスや調理の工夫を知ること、家庭での食事作りにも役立つ学びとなりました。

参加者：

- 1・2学年保護者及び家庭教育学級生
- ・参加者45名
- ・家庭教育学級委員4名 計49名



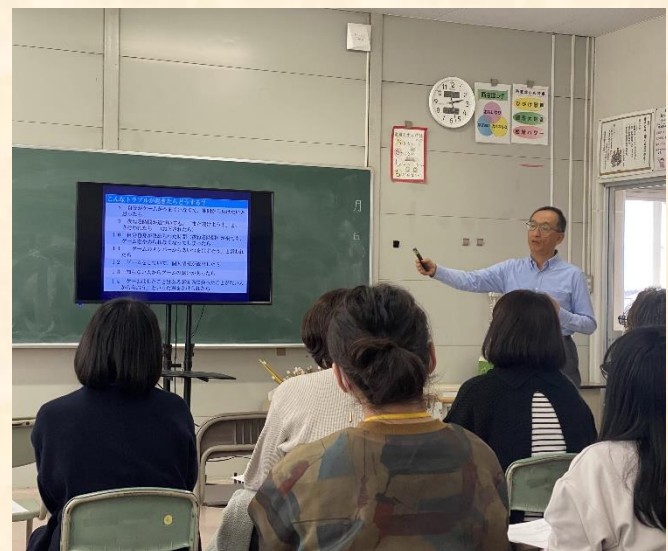
第4回

12月22日に「ネット・スマホ活用世代の保護者が知っておきたいスキル」～子どもにとって安全でより有効なツールとするために～が開催されました。

古谷成司氏(NPO 法人 企業教育研究会)を講師にお招きし、当日22名の参加となりました。

【参加者の声】

- ルール作りは親が一方向的に決めていたことが多かったので、今後は話し合っって一緒に決めようと思った。
- チャット GPT のすごさに驚いた。わからないからと逃げず、子供たちが楽しく過ごせるよう自分自身もまず使ってみようと思った。
- スマホの利用時間との関係のデータや、SNS の良い使い方に注目することなどは新しい情報だった。
- SNS を恐れて過度に制限するのではなく、親子で話し合いながらルールを決めて上手に SNS と向き合いたいと思った。



小竹小学校

第1回

10月17日(金)第1回目として、「携帯電話安全教室」が行われました。講師は、北総地区センター前田さんをお招きして、講話をいただきました。以下は参加者の感想になります。

- ・携帯電話の危険について、具体例を交えて学ぶことができた。
- ・保護者と一緒に学ぶことにより、携帯電話の安全な使い方を親子で共有することができた。
- ・携帯電話の危険性を知ったことで、SNSでのトラブルを未然に防ぐことができた。

参加者：6年生児童及び家庭教育学級生 60名



第2回

11月5日(水)給食試食会が開催され、栄養士 古屋智帆先生からお話をいただきました。

参加者同士で交流する機会が多く、お互いの距離がぐっと縮まり、親睦を深めることができました。また、栄養士の先生から食への思いや工夫についてお話を伺い、日々の食生活にぜひ取り入れていきたいという気持ちが強まりました。さらに、子どもたちと同じ給食をいただくことで、学校での普段の様子を想像することができ、家庭での会話もより広がったように感じます。とても有意義な時間を過ごすことができました。



参加者：1年生保護者及び家庭教育学級生 15名

青菅小学校

11月8日(土)青菅小学校及び近隣の畑において、家庭教育学級「サツマイモ掘りをして、自然の恵みに感謝をしながら、自分で掘ったサツマイモを持って帰ろう!!」の活動を児童および家庭教育学級生138名が参加して実施しました。

本活動は、おやじの会(代表幹事:山田祐樹)菜園部が育てたサツマイモを児童が友だちやおやじの会のメンバーとともに収穫するもので、児童同士の交流や家族以外の大人との関わりや楽しさを体験する機会となりました。また、他学年の児童と協力しながら作業する場面も多く見られ、学年の枠を超えた関わりが自然に生まれたことで、児童同士のつながりがさらに深まる活動となりました。



上志津中学校

1月22日(木) 体育館において、家庭教育学級の学習テーマ「思春期の子どもとの接し方とキャリア教育について」を実施しました。対象は令和8年度入学生保護者および家庭教育学級生の計50名でした。今回は、上志津中学校 PTA 会長である佐藤誠氏を講師にお迎えし、思春期の子どもとの接し方について学ぶとともに、家庭でできるキャリア教育について理解を深めることができました。また、子どもをほめることの重要性についても具体的な事例を交えながら説明していただき、その効果を実感することができました。さらに、キャリア教育と学力との関係についての説明を通して、日常の関わり方が子どもの成長にどのように影響するかを知る貴重な学びの時間となりました。

佐倉中学校

1月26日(水) 体育館において、家庭教育学級の学習テーマ「情報モラル教室～子どもたちの情報モラルについて～」を実施しました。対象は全校生徒、全職員、学校評議員、民生委員、スクールガードおよび家庭教育学級生でした。今回は、千葉県環境生活部県民生活課 子ども・若者育成支援室 主査の進藤公平氏を講師にお迎えし、スマートフォンやタブレットなどの情報端末に触れる機会が多い中学生が陥りやすいネット社会でのトラブルについて学習しました。講話では、トラブルを未然に防ぐための心構えや、問題が起きた際の対処方法について具体的に説明していただきました。また、参加者同士でさまざまな立場から意見を出し合いながら議論する場面もあり、よりよいネット社会との関わり方を身につける貴重な機会となりました。

白井中学校

第2回

1月16日(金)「閉級式・給食体験会」を実施しました。

参加人数は15名でした。今回は、白井中学校栄養教諭の藤ヶ崎晶子先生を講師にお迎えし、学校給食の献立作りの工夫や給食室の雰囲気についてお話をしていただきました。また、当日の給食で提供された「ヤンニョムチキン」の作り方や家庭でも実践できるアドバイスを教えていただき、参加者同士で美味しく楽しい時間を過ごすことができました。さらに、手作りパンやデザートを提供、子どもたちからのリクエストを献立に反映するなど、日々工夫しながら子どもたちの成長を食の面から支えてくださっていることを知ることができました。加えて、子どもたちが給食に携わる先生方と楽しそうにコミュニケーションをとり、お礼を伝えている様子をうかがい、「食育」とは体の成長だけでなく心の成長も促すものであることを実感する学びの機会となりました。



西志津中学校

第2回

11月6日(木)「給食試食会」を実施しました。参加人数は18名でした。前半は、西志津中学校栄養教諭の岩井知子先生を講師にお迎えし、安心・安全な食材の選定方法や調理工程など、学校給食における衛生管理や栄養面の工夫について講話をしていただき、貴重な情報を学びました。後半は、実際に給食を試食し、味付けや食感、栄養バランスが丁寧に考えられているのを感じながら、参加者同士で楽しく試食する時間を過ごしました。本学習を通して、学校給食が子どもたちの健康を支えるために多くの工夫や配慮がなされていることを理解する有意義な機会となりました。



第3回

1月28日(水)「思春期の子どもに対する親のあり方」を実施しました。対象は令和8年度西志津中学校新入生保護者および家庭教育学級生で、参加人数は40名でした。今回は、西志津中学校元校長の高梨哲生先生を講師にお迎えし、思春期の子どもに対する適切な関わり方について学びました。講話では、思春期の子どもたちが抱えやすい課題や、現在の中学校における教育的な課題についてお話しいただきました。また、「中学生はダイヤモンド」という視点から、自己有用感や自己有効感を育てることが自己肯定感につながるという重要な考え方を学ぶことができました。さらに、中学校との連携や協働を通して「チーム学校」として子どもを支えていくことの大切さについて理解を深める貴重な機会となりました。

佐倉幼稚園

第2回

7月14日(月)「正しい箸の持ち方を身に付けよう!」を実施しました。栄養士の駒井先生と保育士の藤本先生から、楽しい箸の絵本やゲーム感覚でできる練習方法、コインを使った持ち方の指導などを教えていただき、子どもたちも楽しみながら取り組むことができました。参加者は在園児保護者6名と在園児6名で、家庭でも活かせる学びが得られた充実した時間となりました。

第3・4回

9月17日(水)と11月26日(水)に「レジンアクセサリー作り」を実施しました。講師には酒井ちひろさんをお迎えし、参加者は在園児保護者が参加しました。9月の回では、昨年度に続く第2弾として新しい道具や技を教わり、丁寧な説明のもとでアクセサリー作りを楽しむことができました。11月の回では、レジン用コーティング液「ドボン液」を使った仕上げに挑戦し、全面のやすり掛けなど難しい工程も講師に手直しをしていただきながら、参加者全員がきれいに仕上げることができました。2回を通して、新しい技術を学びながらものづくりを楽しむ充実した時間となりました。



第5回

1月14日(水)佐倉幼稚園お遊戯で「就学予定児童を持つ保護者向け性教育講座」を実施しました。参加者は在園児保護者5名でした。助産師の佐々木明代氏から、就学前の子どもへ性教育をどのように伝えるかについて学び、特に「子どもが相談しやすい親であるために、日常の中で大切さを伝えること」が重要であると教えていただきました。受講者からは、家庭での取り組みがしやすくなった、声かけの方法が分かったと好評で、有意義な学びとなりました。



第6回

2月24日(火)に「紅茶淹れ方講座/閉級式」を実施しました。講師の勝井絵里さんから、家庭でできる紅茶の淹れ方や、茶葉の種類や収穫時期による味の違いを学びました。参加者それぞれが紅茶を楽しむきっかけを得ることができました。最後に閉級式を行い、園長先生から今年度の家庭教育学級について総評をいただきました。

